

JIS

自動車用機械駆動式燃料ポンプ

JIS D 3601⁻¹⁹⁹³

(2006 確認)

平成 5 年 8 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

自動車航空部会 自動車専門委員会 構成表 (昭和 63 年 1 月 1 日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	中 込 常 雄	学識経験者
	中 川 勝 弘	通商産業省機械情報産業局
	松 波 正 壽	運輸省地域交通局陸上技術安全部
	飛 田 勉	工業技術院標準部
	石 渡 正 治	財団法人日本自動車研究所
	梅 澤 清 彦	東京工業大学精密工学研究所
	大 西 徳	社団法人全日本トラック協会
	佐 藤 武	慶應義塾大学理工学部
	瀬 倉 久 男	防衛庁装備局
	田 中 兼 吉	社団法人日本バス協会
	轟 秀	社団法人日本自動車連盟
	杉 浦 秀 昭	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	岩 根 政 雄	社団法人日本自動車部品工業会
	宇 藤 官	鈴木自動車工業株式会社二輪第二設計部
	大 槻 耕 一	日野自動車工業株式会社研究管理部
	改 田 護	トヨタ自動車株式会社技術管理部
	金 子 達 昭	日本自動車輸入組合
	野 本 正 猪	三菱自動車工業株式会社技術本部技術管理部
	古 川 洋	社団法人自動車技術会
	藤 井 隆	日産自動車株式会社設計管理部
	牧 野 昇	本田技研工業株式会社総務部
	安 部 史 之	日産ディーゼル工業株式会社設計管理部
	一 瀬 修	マツダ株式会社東京技術部
	大 野 恭 二	いすゞ自動車株式会社特許部
	長 滝 清 敬	日本道路公団維持施設部
(関係者)	金 田 正	愛三工業株式会社特許管理部
	小 林 久 徳	日本電装株式会社ガソリン噴射技術部
(事務局)	江 口 信 彦	工業技術院標準部機械規格課
	牛 島 宏 育	工業技術院標準部機械規格課
(事務局)	笹 尾 照 夫	工業技術院標準部機械規格課 (平成 5 年 8 月 1 日改正のとき)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 32.3.29 改正：平成 5.8.1

官 報 公 示：平成 5.8.17

原案作成協力者：社団法人 日本自動車部品工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 自動車航空部会 (部会長 丸茂 長幸)

審議専門委員会：自動車専門委員会 (委員長 中込 常雄) (昭和 63 年 1 月 1 日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車用機械駆動式燃料ポンプ

D 3601-1993

Automobiles—Mechanical fuel pumps

1. 適用範囲 この規格は、自動車用ガソリン機関(以下、機関という。)に用いる機械駆動式燃料ポンプ(以下、ポンプという。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS B 0203 管用テーパねじ
- JIS B 0207 メートル細目ねじ
- JIS D 1601 自動車部品振動試験方法
- JIS K 2201 工業ガソリン
- JIS K 2202 自動車ガソリン
- JIS K 2203 灯油
- JIS K 6301 加硫ゴム物理試験方法
- JIS K 6328 ゴム引布
- JIS Z 8401 数値の丸め方

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) **一体式ポンプ** 本体の組立方法がかしめによるポンプ。
- (2) **組立式ポンプ** 本体の組立方法がねじ組立てによるポンプ。

3. 種類 ポンプの種類は、一体式と組立式とに区分し、それらの形式は、ポンプの大きさと最高締切吐出し圧力とによって、**表1**のとおりとする。